

今、社会全体では、少子化の急速な進行による人口減少社会の到来とともに、社会経済構造は大きな転換期を迎えております。また、下校途中などで子どもが命が奪われるという痛ましい事件が発生し、安全・安心なまちづくりの重要性が高まっております。

本市では、子育て世代を中心に人口増加が続く、まちには新しい活力が生まれています。教育や保育などに係る行政需要も増大しています。

このような時代において、豊かな人間性をもった、たくましい子どもたちの育成と、将来に夢と希望をもてる地域社会を築くため、社会の存立基盤である教育を通じた人材育成が何より重要であると考えております。

学校教育では、次代を担う子どもたちの確かな学力、豊かな心、健やかな体のバランスのとれた育成を通じて、生きる力をはぐくめるよう努めてまいります。そのため、創意工夫を生かした特色ある学校園づくりに努め、子どもたち一人ひとりを大切に育てる教育を推進してまいります。

このころからは、教育行政の5つの柱について、新年度に実施します主要な事業・施策を中心に、ご説明申し上げます。

第1に、「人間尊重教育の推進」についてです。市民一人ひとりが、市民の生涯学習への参加意欲が高く、自発的な学習活動やスポーツ活動が活発に展開されており、子どもから高齢者まで、だれもが気軽に学習でき、芸術・文化、スポーツ・レクリエーション活動などに親しめるよう環境整備に努めてまいります。

家庭は、子どもにとって最も身近なやすらぎの場所であり、すべての教育の出発点であります。子どもたちは、自発的な活動や様々な体験の中で、自ら学び、家族とのふれあいの中で成長していくとの認識のもと、家庭教育の支援に取り組んでまいります。

西宮の教育は、市民の方々の熱い思いと信頼に支えられてまいりました。この長年培われてきた教育的・文化的環境を一層発展させ、市民と共に「夢は、大きく教育のまち西宮」の実現に向け、西宮教育の推進に情熱を注ぐ決意であります。

第2に、「個を育てる学校教育の推進」についてであります。一人ひとりの子どもが個性や能力を伸ばし、その可能性を開花させること、常に夢と希望をもって自分の道を切り拓いていくことをめざし、学校教育では、たくましく生きていく力の育成を図ってまいります。また、家庭・地域のニーズを学校運営に生かすとともに、外部評価を積極的に受け入れ、開かれた学校・特色ある学校づくりに一層努めてまいります。

学力の向上については、小学校4年生で実施している学力調査を拡充するなど、子どもの実態把握に努め、より効果的な学習指導の工夫等を行うとともに、研修をとおして教師の授業力を高めてまいります。また、子どもたちの自主的な学習を支援するため、小・中・養護学校では、教育情報ネットワークによる「漢字・計算認定制度」の拡充を図るとともに、「チャレンジサポート」や「学校図書館指導員」の配置を継続してまいります。

心の育成においては、道徳の時間における魅力的な授業の創造をもとに道徳教育の充実を努めます。また、心のケア、とりわけ不登校対策では、教室復帰をめざす子どもを支援するため、サポーターを学校に派遣するとともに、在宅での学習支援システムの開発に取り組んでまいります。

健やかな体づくりについで、子どもの体力・運動能力の向上をめざすとともに、健全な食生活を実践する力を育てる食育の推進に努めます。幼稚園では、子どもの発達や学びの連続性を踏まえ、小学校教育との連携を深めるとともに、保護者とのコミュニケーションをより一層活発にすることに努めてまいります。

第3に、「家庭・地域と共に子どもを育てる教育の推進」についてであります。子どもたちの生きる力をはぐくむには、子どもたちが自ら目標を見つけ、目的に向かって挑戦する活動や体験を通じて、達成感や喜びを感じる必要があります。

子どもたちの生きる力をはぐくむには、子どもたちが自ら目標を見つけ、目的に向かって挑戦する活動や体験を通じて、達成感や喜びを感じる必要があります。そのような活動や体験の場を提供し、子どもたちの成長を促すために、家庭・地域と共に子どもを育てる教育を推進してまいります。

家庭教育の支援については、家庭教育振興市民会議と連携した家庭教育講座や、公民館での幼児教育講座など多様な学習機会と情報の提供に努めます。子育て総合センターでは、中高生を対象とする「保育体験プログラム」を実施するとともに、「子育て相談」や「親子サロン」事業等の推進を図るほか、子育てサークルの育成支援や子育てに係わる情報提供に努めます。

子ども向けの文化的講座や「宮水ジュニア」事業では、レザークラフトなど新しい講座を加えて、より一層の拡充を図ります。青少年の健全育成では、「家族ふれあい事業」や「ふれんどりいキャンブ」など、多様な体験活動事業を実施いたします。また、青少年の非行化防止を推進するため、地域のボランティアなどの協力を得て、声かけを中心とした街頭補導に取り組んでまいります。

生涯学習大学「宮水学園」では、カリキュラムや講座の充実に努め、学園生の自主的な交流活動を支援いたします。また、高度化する学習要求に応えるため、ゼミナール形式によるマスターコースを開催いたします。

図書館では、図書資料の充実を図るとともに、インターネットの利用による蔵書検索やパソコン・携帯電話・利用端末からの予約サービスなど、利便性の向上を図ります。また、図書館ボランティアの協力を得て、乳幼児期から読書に親しむ機会の提供に努めるなど、「くらしの中に図書館を」をめざし、市民の利用を促進してまいります。

文化財の保護については、神呪寺の防災施設改修工事に助成を行います。スポーツの振興では、学校体育施設開放事業をスポーツクラブ21と連携し継続するとともに、同クラブの組織や運営の充実を図り、地域コミュニティの活性化をめざしてまいります。また、のじぎく兵庫国体の開催に合わせ、「スポーツ芸術」競技館が開催する洋画のコレクション公開展を支援するとともに、郷土資料館ではポスターの特別展示「スポーツの賑わい」を実施いたします。

最後に、教育環境の整備についてであります。学校施設は、子どもたちの豊かな人間性をはぐくむ活動の場であると同時に、災害時には地域の避難所としての役割も重要なことから、安全・安心対策を重点に施設整備を図ってまいります。不審者侵入防止対策では、小学校及び養護学校を対象に低いフェンスのかさ上げ工事を行うほか、モニター画面で来訪者を確認し、門扉を遠隔操作で解錠するシステムを試行的に2校で設置いたします。

確保に努めます。生徒の学習効率の向上をめざすため、市立西宮高等学校の普通教室の一部に空調設備を新設するとともに、パリアフリー化を図るため、小学校2校、中学校1校でエレベーターを設置いたします。

続いて、行財政改善では、図書館の管理運営体制の見直しや外郭団体の抜本的な見直しなど第3次行財政改善実施計画を着実に実施してまいります。また、公民館の運営体制についても見直しを行うてまいります。

さらに、事務の効率化を一層進めるため、市長事務部局との関係事務の見直しに取り組んでまいります。新年度の教育予算は、165億2387万2千円です。極めて厳しい財政状況が続く中、一層効率的な行財政運営に努め、教育行政の推進に努力してまいります。

以上、新年度の教育行政の概要を申し上げますが、今後とも、議員各位並びに市民の皆様のご支援をお願いするとともに、この大要にご賛同いただきまますようお願い申し上げます。